

☆韓国**炭素繊維****暁星、炭素繊維の開発に成功**

暁星はこのほど、韓国企業で初めて炭素繊維の開発に成功したと発表した。2013年までに2500億ウォン（約186億円）を投じ、全羅北道・全州市の親環境複合産業団地に年産2,000トンの規模の炭素繊維工場を建設、さらに2020年までに総額1兆2,000億ウォン（約890億円）を投じ、年産1万7,000トン確保する計画である。同社は、品質とコスト競争力に優れた炭素繊維の生産に全力を挙げ、2020年までに世界水準の炭素繊維メーカーを目指す。暁星は炭素繊維分野の投資で全羅北道・全州市と協力に向けたMOUを締結した。

現在の世界の炭素繊維市場規模は年産5万トンで、およそ20億ドル水準。韓国の市場規模は2,400トン水準だが、毎年11%以上で急成長している。

炭素繊維については、トルコのAksaが参入、サウジアラビアのSABICとMontefibreも参入計画を発表するなど新規参入が相次いでいる。

☆サウジアラビア**炭素繊維****SABIC、炭素繊維生産に参入**

SABICは、イタリアの合繊メーカーMontefibreと炭素繊維製造に関する技術供与契約を結んだことを発表。SABICは、サウジアラビアに炭素繊維工場を建設する。

同工場が完成すれば、サウジアラビアにおける炭素繊維生産量は3,000トン超となり、中東や国際市場での新興市場向け需要に対応することが出来る。これにより、代替エネルギー、輸送、インフラといった成長著しい分野に対応することが可能となった。

炭素繊維事業への参入について同社首脳は、「サウジアラビアに世界レベルの炭素繊維複合材のバリューチェーンを創出することで、主要市場の顧客に対し一段と広範な革新的製品やサービスを提供する。競争力のある炭素繊維製品の供給により新規及び既存用途の拡大が可能となる。」と語っている。

このプロジェクトには、子会社のSABIC Plastics Application Development Center (SPADC)がキングサウド大学内に建設している炭素繊維製品開発センターや、複合材の開発も含まれている。これらの事業は、サウジアラビア政府が国内の製造業の育成と多様化を目的として進めている国家産業クラスター開発プログラムに基づいて進められている。

☆米 国

企業買収

DAK Americas、Wellman の PET 事業を買収

DAK Americas LLC (DAK) は、Wellman Inc の PET 事業買収を発表した。買収金額は債務引受を含む約 1 億 8,500 万ドル。取引は 2011 年下半期に通常の各種認可を待って完了する見込み。当買収により DAK は Mississippi 州 Bay St. Louis にある Wellman の PET 工場を獲得する。年産 43 万トンの PET を生産し、従業員は約 165 名。

買収により DAK は財政基盤の強化を図り、また最新設備の整った工場を獲得することで、技術革新を続けコスト効率を向上し、製品の幅を広げてより柔軟に顧客ニーズに対応する。

PET は、炭酸飲料やウォーターのボトル生産をはじめ、食品や消費財の梱包用途など幅広く使われている。

メキシコの Alfa S.A.B. de C.V. の完全子会社である DAK Americas は PET、ポリエステル短繊維、PTA、機能性ポリマーの 4 事業部門から成る世界最大規模の PET 樹脂メーカーであり、米国最大のポリエステル短繊維メーカーである。米国ではポリエステル短繊維 2 工場を有しており、合計年産 24 万トン規模の生産能力を有している。親会社の ALFA は、石油化学製品、自動車部品、冷蔵食品、テレコミュニケーションの 4 事業を展開するメキシコの手コングロマリットである。